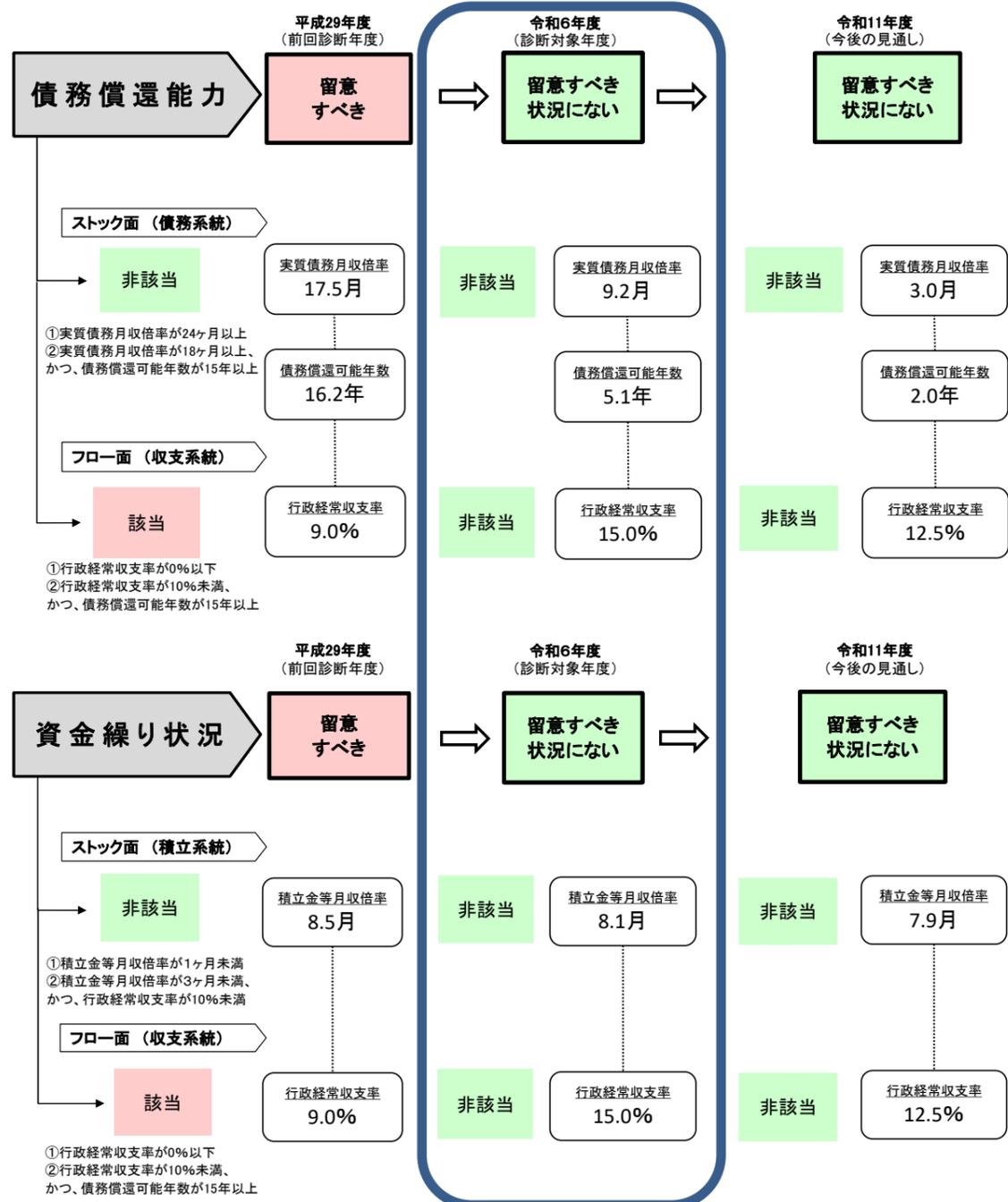


芦屋町 財務状況把握の結果概要<ポイント>

○診断結果

貴町では、芦屋中央病院建替事業の完了以降、大型事業の実施はなく、起債に関しても過疎対策事業債や緊急防災・減災事業債など交付税措置率の高い起債を中心に実施し、一般財源の負担軽減や平準化に努めている。また、ポートルース競走事業収益を活用し、各種基金への積立を着実に実施してきた結果、実質債務は徐々に減少しており、令和6年度においては、診断基準のいずれにも該当しないことから、財務状況については特段の留意を要する状況にはないものと認められる。

なお、令和11年度(計画最終年度)には、債務償還可能年数は2.0年に良化し、実質債務月収倍率についても3.0月に良化する見込み。一方で、人口減少に伴う地方税収入の減少や人件費の増加等により行政経常収支は減少し、行政経常収支率については12.5%に低下(悪化)することが予想される。

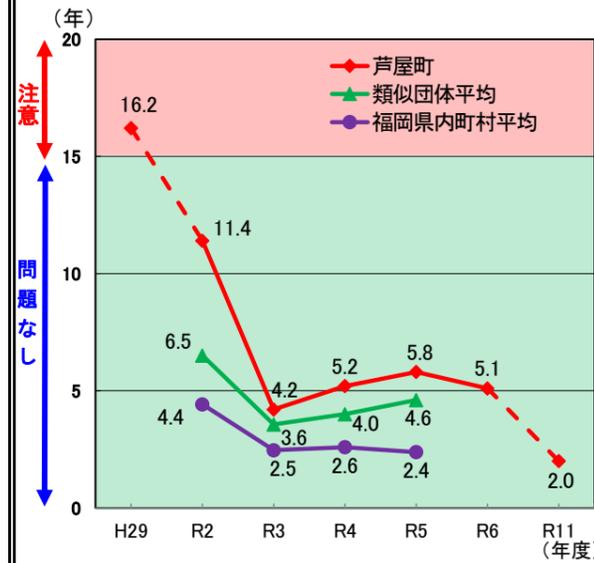


○財務指標の推移

債務償還可能年数

<<意義>>

1年間で生み出される償還原資で債務を返済するのに何年かかるか
 債務償還可能年数 = 実質債務 / 行政経常収支

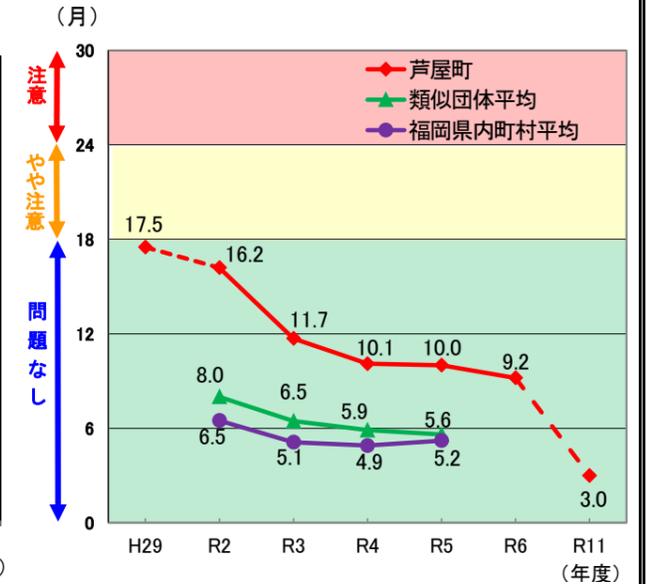


実質債務月収倍率

<<意義>>

債務が月収の何ヶ月分あるか

実質債務月収倍率 = 実質債務 / (行政経常収入 / 12)

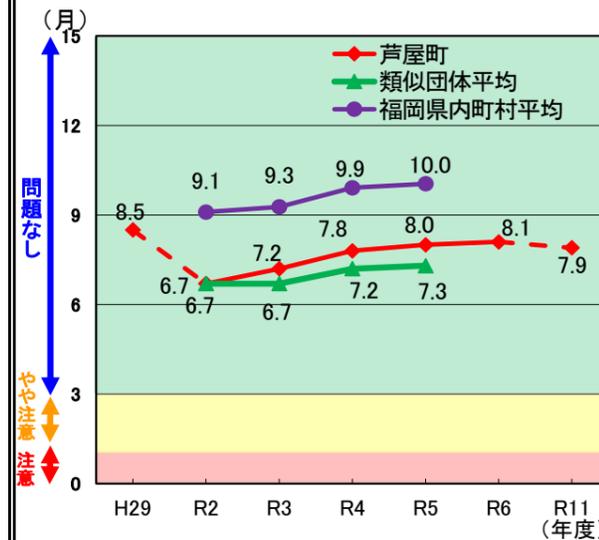


積立金等月収倍率

<<意義>>

積立金が月収の何ヶ月分あるか

積立金等月収倍率 = 積立金等 / (行政経常収入 / 12)



行政経常収支率

<<意義>>

収入からどの程度の償還原資を生み出しているか

行政経常収支率 = 行政経常収支 / 行政経常収入

